

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2017. 4. 1)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.98

■ 3月議会(2017年第1回定例会)

■ 一般質問「いのち・暮らしを支えるまちづくり」

★義務教育の保護者負担縮減

○制服や、教材費等の費用負担縮減について問う。入学時の費用は、小学校は1~2万円、中学は制服関連で7万円前後。プラス鞆や教材費等が必要。○学校事務は、財政を担う専門職として保護者負担縮減等にも関与すべき。

教育長⇒教材費は、教育上最低限必要なものにするよう指導する。

学校事務は公費担当だが、対応を検討する。



★汚れたプラスチックの分別変更

○汚れのとれないプラスチックは、可燃ごみで有料収集となる。きれいなプラスチックは、無料収集でリサイクルする。安易に燃やすべきではない。分別方法の変更を、広報・周知を徹底すべき。

生活環境部長⇒「公報みたか」、4月配布のリサイクルカレンダー等に掲載。町会等への出前講座も実施する。



★外環中央JCT工事被害への対策

○本線シールドトンネル掘削工事説明会、中央JCT工事説明会が相次いで開催された。会場での市民の発言を把握し、被害実態の調査等の対応をしているか。

市長⇒被害はあってはならない。被害が生じないよう、国や事業者とも連絡を取っている。

○地震と思って家を飛び出すような振動や、横になったときに絶えず感じる微細な振動を、被害と捉えない市の姿勢は残念である。市民が直接市に訴える事ができる体制を整えるべきではないか。

広域まちづくり等担当部長⇒事業者が安全確保をし、第3者機関のチェックを受けるよう要望していく。

◆ 2017年度一般会計予算に反対

★防災公園施設の総管理費は6億8,300万。

計画案の議論で、維持管理のコストが高くなる、との反対意見に、いままでの施設の合計と同等で、電気等をふじみ衛生組合から購入するので省エネだと答弁した。しかし、維持管理費は膨れあがった。面積が大きくなった分増えたとの答弁には納得できない。



★市長車リース中途解約料108万。

ハイブリット車からネーミングライツの相手方SUBARUに乗り換えるため。ネーミングライツの協定では、会社の社会貢献事業や職員の福利厚生に施設利用が可能としている。また、市の軽自動車はすでに地元企業であるSUBARUへの買い換えが進む。中途解約する必要はない。

◆ どんぐり山(特別養護老人ホーム・高齢者サービスセンター)廃止に反対

「指定管理者から返上の申し出であり、指定管理期間終了直後の2018年6月に大沢地区に岡山市の社会福祉法人コトブキ会が特別養護老人ホームを開設予定で、入所者・職員、地域包括支援センターも受入れ可能のため」と説明があった。

三鷹市立の公的施設であり、他の指定管理者を募集すべき。最終的には市の福祉を担うべく設置されている三鷹市社会福祉事業団が担うべきとして、介護サービス事業特別会計予算に反対。

◆ 庁舎等建設基金創設に反対

当初予算は40万だが、法人市民税の増額補正分(2014年+2016年)で20億円積む補正予算。

「現在地で建替え」とのまちづくり総合研究所の中間報告もあり、建替えに向けて加速。市民意見は庁舎内でのアンケートのみ。多様な選択肢の提示しつつ、建替えをするか否かからの検討を市民に問うべき。補正予算に反対。

◆職員定数条例他に反対

★教育委員会の生涯学習課を廃止し、市長部局にスポーツと文化課を創設。地方教育行政法では「社会教育」は教育委員会が担う事務とされているのに、市長部局にそっくり移す。「補助執行」で行うとするが、本来事務の一部を依頼するもの。スポーツと文化部長に教育委員会理事を併任させ形だけ取り繕っても、法の求めるものとは違う。

★職員定数を削減；部課長の兼職が多く、多忙化や職務専念が困難な状況もある。生活保護のケースワーカーは法規定の80人より多く100人超え

が常態化している。職員不足が明確にもかかわらず削減は問題。

★専門職(嘱託員)の名称変更；社会教育指導員・児童館指導員を廃止し、多世代交流センター支援員とする。今までと同様の資格要件で募集と答弁。しかし法的な位置づけのある職を廃止することは問題。

また、教育指導員を就学相談員に変更しスクールソーシャルワーカーとして位置づけるが、兼任では専門性が十分発揮しきれない危惧が残る。



◆東部水再生センター監視制御設備等更新工事委託協定締結に反対

日本下水道事業団に、随意契約で10億99百万円の工事を委託。実際には下水道事業団が事業者が発注。国交省等設置の事業団だが、工事の丸投げでは、内容チェックができなくなるとして反対。

■議員提案意見書

★野村提案「みつばちを守るため農薬取締法の改正を求める意見書」自公無の反対で否決。

★野村提案「強度不安の疑いのある原発の検査を求める決議」自公無の反対で否決。

★嶋崎提案「ふるさと納税制度の見直しを求める意見書」：維無のみ反対で可決。

★嶋崎提案「後期高齢者医療保険料誤徴収の原因究明と再発防止を求める意見書」自公無反対で否決。

★伊沢提案「水道事業の民営化に反対する意見書」：自公無維反対で否決。

▼共産党西尾提案「原発事故避難者への住宅支援の継続を求める決議」自公反対で否決。

●告知4/8(土) 13:30~いっしょ広場春

2017 いっしょ広場 春
つくる子ども居場所 みんなの居場所
映画 **さとにきたらええやん**
2017 **4/8(土)** 13:30~ **上映会**
三鷹市市民協働センター
2階第一会議室

参加費
上映十トーク 大人 1,000円 (18歳以下は無料)
交流会費 軽食実費 (500円程度)



東京都の調査では「生活に困難」を抱える子どもたちが5人に1人となっています。そんな子どもたち、大人たちを連れ、共に生きる場を作ってきたのが大阪釜ヶ崎の「子どもの里」です。この映画は「子どもの里」に出入りする子どもと大人の姿を描くドキュメンタリーです。今、私たちにできることは何か、ともに考え、ともに語り合しましょう。
<http://www.sato-eeyan.com>

プログラム
13:30~「さとにきたらええやん」上映
15:10~ トーク「道線になろう」
北村年子 + 野村羊子
16:45~ 交流会
19:00 終了予定



●3/4自由と人権を奪う共謀罪NO！三鷹市議会超党派(いのち・共産・民進) & 市民共同行動；20人ほどで500枚のチラシをまく。監視社会の強化となる共謀罪には断固反対です。

●3.11いのちを想う 誓いのキャンドルナイト；6回目となるキャンドルナイト。冷たい風が吹く中、多くの市民が立ち止まり想いを寄せてくれました。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.98
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: <http://www.nomura-yoko.net>
Twitter: @hitujinomura